

戦争法は廃止！基地はいらない！
沖縄県辺野古への新基地建設を問う

市民投票スタート集会

10月4日(日) 13時30分～16時

サンプラザ生涯学習市民センター(「枚方市駅」下車徒歩3分)

お話: 沖縄辺野古で今何が起っているのか

お話する人: 松島洋介さん

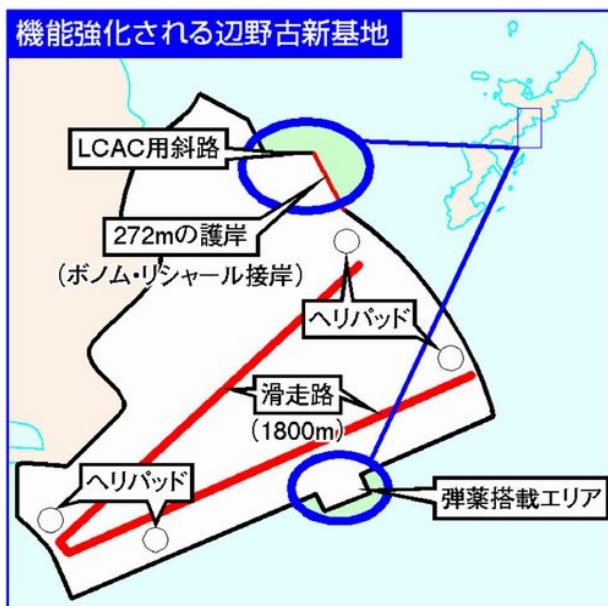
(ジュゴン保護キャンペーンセンター) 参加費 300円

安倍政権は、2015年9月19日未明戦争法案を強行採決しました。安倍政権に、もう私たちの未来は任せられません！

沖縄県名護市辺野古で建設を強行しようとしている新基地は、戦争法の具体化として日米共同使用で自衛隊の出撃基地として位置付けられています。

翁長知事を先頭に83%の県民がこの新基地建設に反対しているにもかかわらず、「安倍政権」は、強権的に基地の建設を進めようとしています。

“安倍政権がなぜ今、新基地建設を狙っているのか？”“沖縄の人々はなぜ反対をしているか？”“在日米軍基地の74%が沖縄に集中する現実”等、考える機会をつくりたいと考えています。そして、全国から新基地建設反対の声を集め、安倍政権に主権者の声として突きつけていきたいと思ひます。ぜひ、投票への協力をお願いします。お友達やご家族に広めて下さい。



11・3団結まつり実行委員会(枚方 交野)
連絡先 松田久子 090-9705-5921

市民投票の枚方での「開票」は、10月31日(土)13時30分から「枚方市民会館」で行い、全国「開票」と集計は、11月3日の「団結まつり」会場で行ないます

辺野古に陸自常駐 恒常的に共同使用

防衛省文書で判明 2015年3月4日 琉球新報

2012年に防衛省がキャンプ・シュワブやキャンプ・ハンセンなど米軍施設を恒常的に共同使用し、陸上自衛隊員800人前後を常駐させた上で、島しょ地域で紛争が発生した場合に緊急展開させる計画をしていたことが分かった。普天間飛行場の代替施設として政府が建設を進める辺野古の新基地についての共同使用も念頭に置かれていたとみられ、代替施設に自衛隊が常駐する可能性が明らかになるのは初めて。